

平成21年11月5日

厚生労働大臣 長妻 昭 様

京都府公立大学法人
理事長 荒巻 祐

京都府立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	204 人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	209人	259人	459.9人	看護業務補助	47人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	5人	17人	21.4人	理学療法士	11人	臨床検査技師	53人
薬 剤 師	30人	15人	37.9人	作業療法士	6人	衛生検査技師	0人
保 健 師	人	人	.人	視能訓練士	12人	其 他	0人
助 産 師	人	人	.人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	716人	69人	761.3人	臨床工学技士	8人	医療社会事業従事者	8人
准看護師	3人	2人	4.0人	栄養士	4人	その他の技術員	6人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯科技工士	2人	事務職員	98人
管理栄養士	4人	2人	5.4人	診療放射線技師	6人	その他の職員	36人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	655.6人	2.2人	657.8人
1日当たり平均外来患者数	1,700.1人	138.7人	1,838.8人
1日当たり平均調剤数	入院 1291.8 剤	外来 344.1 剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	209人	259人	459.9人	看護業務補助	47人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	5人	17人	21.4人	理学療法士	11人	麻 痺 臨床検査技師	53人
薬 剤 師	30人	15人	37.9人	作業療法士	6人		
保 健 師	人	人	.人	視能訓練士	12人	髄 腫 そ の 他	0人
助 産 師	人	人	.人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	716人	69人	761.3人	臨床工学技士	8人	医療社会事業従事者	8人
准看護師	3人	2人	4.0人	栄養士	4人	その他の技術員	6人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯科技工士	2人	事務職員	98人
管理栄養士	4人	2人	5.4人	診療放射線技師	6人	その他の職員	36人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	655.6人	2.2人	657.8人
1日当たり平均外来患者数	1,700.1人	138.7人	1,838.8人
1日当たり平均調剤数	入院 1291.8 剤 外来 344.1 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 岩井 直躬
管理担当者氏名	事務部長 石橋 通

	保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん 手術記録、看護記録、検査所見記録 エックス線写真、紹介状、退院した 患者に係る入院期間中の診療経過の 要約及び入院診療計画書	カルテ庫 各診療科外来 病棟 調剤室 フィルム庫	手術記録、看護記録、検査所見記録、 紹介状、退院した患者に係る入院期間中 の診療経過の要約等は、カルテに添付し て整理している。 カルテについては、診療情報管理室に よる保管・管理体制のもと運用しており 、うち、通院・入院中のアクティブカル テについては各診療科の外来・病棟にお いて保管している。 また、処方箋は調剤室に保管しエック ス線写真はフィルム庫に保管している。 なお、平成20年1月から電子カルテ システムを導入し、順次データ管理を進 めている。
病院の管 理及び運 営に関す る諸記録	従業者数を明らかにする帳 簿	管理課
	高度の医療の提供の実績	医事収納課
	高度の医療技術の開発及び 評価の実績	病院管理課
	高度の医療の研修の実績	病院管理課
	閲覧実績	病院管理課
	紹介患者に対する医療提供 の実績	医事収納課
	入院患者数、外来患者及び 調剤の数を明らかにする帳 簿	病院管理課 薬剤部
確規 保則 の第 9 状 条 の 2 3 及 び 第 1 条 の 1 1 各 号 に 掲 げ る 体 制	専任の医療に係る安 全管理を行う者の配置 状況	医療安全管理部
	専任の院内感染対策 を行う者の配置状況	感染対策部
	医療に係る安全管理 を行う部門の設置状況	医療安全管理部
	当該病院内に患者か らの安全管理に係る相 談に適切に応じる体制 の確保状況	医事収納課
	医療に係る安全管理 のための指針の整備状 況	医療安全管理部
	医療に係る安全管理 のための委員会の開催 状況	医療安全管理部
	医療に係る安全管理 のための職員研修の実 施状況	医療安全管理部
	医療機関内における 事故報告等の医療に係 る安全の確保を目的と した改善のための方策 の状況	医療安全管理部

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染対策部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療機器管理部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理部
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理部		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理部 医療安全管理部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院管理課長 荒田 均
閲覧担当者氏名	病院管理課副課長 田川 裕隆
閲覧の求めに応じる場所	病院管理課総務調整担当

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 0 件
閲覧者別	医 師	延 件
	歯 科 医 師	延 件
	国	延 件
	地方公共団体	延 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	59.3%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		11,982人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		13,536人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		555人
	D：初診の患者の数		30,428人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>【指針の主な内容】</p> <p>院内感染対策に関する基本的考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策のための委員会その他の当該病院等の組織に関する基本的事項 ・院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針 ・感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ・院内感染発生時の対応に関する基本方針 ・患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>【活動の主な内容】</p> <p>感染症発生状況報告（対応状況も含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MRSA等耐性菌の発生状況報告（対応状況も含む） ・抗MRSA薬等の使用状況報告（適正使用に関する指導状況も含む） ・その他院内感染対策の推進に関する方策の検討 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 6 回
<p>【研修の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇感染予防対策研修会基礎コース 内容：標準予防策・手指衛生・感染経路別対策・感染対策に必要な微生物学・細菌検査・カテーテル管理・消毒剤の知識・創傷管理・誤嚥性肺炎防止・人工呼吸管理・その他（ケーススタディ） ◇感染対策と医療訴訟 ◇新型インフルエンザについて ◇発疹性疾患について 	
<p>④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院における発生状況の報告等の整備 （有・無） ・その他の改善のための方策の主な内容： 医師部門に「感染対策推進医師」を、看護部門に「感染委員」をそれぞれ設置し、感染症情報やその対応について、院内主要会議でのアナウンスや電子メール配信等の手段により随時周知徹底を図っている。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>【研修の主な内容】 麻薬の適正使用、医薬品の相互作用、抗がん剤の適正使用 等 薬剤に関するリスク対策</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・手順書の作成 (有・無) 【業務の主な内容】 手順書に即した段階的なチェック</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) 薬品情報係に専任および兼任職員を置いて情報を収集 医薬品メーカーおよびインターネットによる各種情報源から収集</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容 ヒヤリハット事例を掲示</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 回
<p>【研修の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工心肺及び補助循環装置（IABP、PCPS）の使用に携わる職員に対し、適切な使用方法やメカニカルなトラブル発生時の対応等についての教育を実施 ・医療機器の適切な安全使用に関する研修会を実施 ・新規導入のもの // ・人工呼吸のもの // 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・計画の策定 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無) ・保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 改正医療法に定める医療機器のほか、シリンジポンプ、輸液ポンプ、電気メス、麻酔器等、40品目2743台について職員（臨床工学技士）及び委託業者（医療機器保守点検管理）による保守点検を実施。 また、放射線治療装置（リニアック）についてはメーカーと年間保守契約を締結し、定期点検を実施 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無) ・その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医療機器の情報、添付文書に関しては医療機器管理部で一元管理を実施 	

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> (1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> (1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
【所属職員】 専任 (1) 名 兼任 (7) 名 【活動の主な内容】 ○医療事故報告・インシデントに係る報告書の管理 ○医療事故報告・インシデントの発生原因の調査・分析 ○安全対策の実施状況及び医療事故発生時の対応状況についての調査・指導 ○安全管理のための教育・研修 ○安全対策の推進	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
【指針の主な内容】 ○安全管理のための基本的な考え方 ○職員の教育・研修及び啓発について ○医療事故発生時の対応 ○インシデント報告制度について ○安全管理のための組織 ○患者相談窓口 ○閲覧について	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
【活動の主な内容】 ○安全管理のための指針の策定及び変更に関すること ○発生した医療事故・インシデントの調査分析並びに再発防止策の立案及び実施に関すること ○安全管理のための教育・研修に関すること ○その他医療に係る安全対策に関すること	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 6 回
【研修の主な内容】 ○医療事故防止について ○重大事態発生時対応のポイント ○コミュニケーションエラー ○リスクマネジメントについて	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・医療機関内における事故報告等の整備 (<input checked="" type="checkbox"/> ・無) ・その他の改善のための方策の主な内容： ○医療安全のための院内調査ラウンド。 ○インシデント事例や教訓を掲載した「医療安全管理部レター」を発行し、インシデント事例の共有、注意喚起を行なっている。 ○インシデント、アクシデント事例を「医療安全管理部ファイル」で供覧し、職員への周知を図っている。 ○人工呼吸器のリスク管理のため、チームで院内ラウンドを実施。	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>【指針の主な内容】</p> <p>院内感染対策に関する基本的考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策のための委員会その他の当該病院等の組織に関する基本的事項 ・院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針 ・感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ・院内感染発生時の対応に関する基本方針 ・患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>【活動の主な内容】</p> <p>感染症発生状況報告（対応状況も含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MRSA等耐性菌の発生状況報告（対応状況も含む） ・抗MRSA薬等の使用状況報告（適正使用に関する指導状況も含む） ・その他院内感染対策の推進に関する方策の検討 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 6 回
<p>【研修の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇感染予防対策研修会基礎コース 内容：標準予防策・手指衛生・感染経路別対策・感染対策に必要な微生物学・細菌検査・カテーテル管理・消毒剤の知識・創傷管理・誤嚥性肺炎防止・人工呼吸管理・その他（ケーススタディ） ◇感染対策と医療訴訟 ◇新型インフルエンザについて ◇発疹性疾患について 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・病院における発生状況の報告等の整備 （ 有・無 ） ・その他の改善のための方策の主な内容： 医師部門に「感染対策推進医師」を、看護部門に「感染委員」をそれぞれ設置し、感染症情報やその対応について、院内主要会議でのアナウンスや電子メール配信等の手段により随時周知徹底を図っている。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>【研修の主な内容】</p> <p>麻薬の適正使用、医薬品の相互作用、抗がん剤の適正使用 等 薬剤に関するリスク対策</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・手順書の作成 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無)</p> <p>【業務の主な内容】</p> <p>手順書に即した段階的なチェック</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無)</p> <p>薬品情報係に専任および兼任職員を置いて情報を収集 医薬品メーカーおよびインターネットによる各種情報源から収集</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>ヒヤリハット事例を掲示</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 回
<p>【研修の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工心肺及び補助循環装置（IABP、PCPS）の使用に携わる職員に対し、適切な使用方法やメカニカルなトラブル発生時の対応等についての教育を実施 ・医療機器の適切な安全使用に関する研修会を実施 ・新規導入のもの 〃 ・人工呼吸のもの 〃 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・計画の策定 （ 有・無 ） ・保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 改正医療法に定める医療機器のほか、シリンジポンプ、輸液ポンプ、電気メス、麻酔器等、40品目2743台について職員（臨床工学技士）及び委託業者（医療機器保守点検管理）による保守点検を実施。 また、放射線治療装置（リニアック）についてはメーカーと年間保守契約を締結し、定期点検を実施 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器に係る情報の収集の整備 （ 有・無 ） ・その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医療機器の情報、添付文書に関しては医療機器管理部で一元管理を実施 	

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
H21.10.1承認 インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	19人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癬痕、陰球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癬痕その他の重症の癬痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。) H21.4.1承認	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
31P—磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリーノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有 <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	6人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有 <input type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有 <input type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類 I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治療切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。)及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。)が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
--	--------------------------------------	---

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	169人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	0人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	1人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHIF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	97	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	27
・多発性硬化症	41	・ウエゲナー肉芽腫症	26
・重症筋無力症	89	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	45
・全身性エリテマトーデス	457	・多系統萎縮症	14
・スモン	3	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3
・再生不良性貧血	72	・膿疱性乾癬	8
・サルコイドーシス	173	・広範脊柱管狭窄症	6
・筋萎縮性側索硬化症	17	・原発性胆汁性肝硬変	124
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	255	・重症急性膵炎	15
・特発性血小板減少性紫斑病	96	・特発性大腿骨頭壊死症	38
・結節性動脈周囲炎	9	・混合性結合組織病	91
・潰瘍性大腸炎	200	・原発性免疫不全症候群	6
・大動脈炎症候群	24	・特発性間質性肺炎	19
・ビュルガー病	38	・網膜色素変性症	26
・天疱瘡	49	・プリオン病	2
・脊髄小脳変性症	42	・原発性肺高血圧症	19
・クローン病	73	・神経線維腫症	14
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3	・亜急性硬化性全脳炎	0
・悪性関節リウマチ	32	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3
・パーキンソン病関連疾患	214	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	0
・アミロイドーシス	47	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0
・後縦靭帯骨化症	145	・副腎白質ジストロフィー	0
・ハンチントン病	4		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月に1回程度		
剖検の状況	剖検症例数	20例	剖検率 9.6%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヒト心臓内多能性幹細胞と幹細胞増幅因子bFGF徐放シートのハイブリッド移植療法による心筋再生医療の多施設共同型臨床開発	松原弘明	循環器腎臓内科	49,691,000円	補 厚生労働省
難治性血管炎に対する血管再生療法の多施設共同研究	松原弘明	循環器腎臓内科	2,200,000円	補 厚生労働省
難治性血管炎に関する調査研究	松原弘明	循環器腎臓内科	150,000円	補 厚生労働省
ヒト心臓内幹細胞の増殖・分化誘導因子の発見と心筋分化初期プライミング因子の探索	松原弘明	循環器腎臓内科	19,540,000円	補 文部科学省
心血管ストレスにตอบสนองするチロシンキナーゼの作用機序とその制御による創薬の試み	沖垣光彦	循環器腎臓内科	2,690,000円	補 文部科学省
p53、SCO2による心筋ミトコンドリア好氣的エネルギー代謝調節と心筋細胞死	的場聖明	循環器腎臓内科	2,210,000円	補 文部科学省
心不全における細胞の生死に係るミトコンドリア機能解析と生体組織工学アプローチ	金井恵理	循環器腎臓内科	1,690,000円	補 文部科学省
胚性幹細胞の心血管細胞分化におけるmicroRNAの役割	高橋知三郎	循環器腎臓内科	2,210,000円	補 文部科学省
アンジオテンシンによるTリンパ球系幹細胞の分化・増殖・活性化と不安定プラーク破綻	山田浩之	循環器腎臓内科	1,560,000円	補 文部科学省
心筋幹細胞の心筋分化機構におけるmicroRNAの発現様式の検討	立石健人	循環器腎臓内科	1,755,000円	補 文部科学省
血管内皮アポトーシスを制御する新規遺伝子BLADEの血管新生における機能の解明	池田宏二	循環器腎臓内科	2,860,000円	補 文部科学省
悪性リンパ腫に対する免疫化学療法の最適化による新たな標準的治療の	谷脇雅史	血液内科	1,000,000円	補 名古屋医療センター
分子基盤に基づく難治性リンパ系腫瘍の診断及び治療法の開発に関する研究	谷脇雅史	血液内科	1,200,000円	補 名古屋大学医学部付属病院
成人T細胞白血病(ATL)に対する同種幹細胞移植法の開発とそのHTLV-1排除機構の解明に関する研究	谷脇雅史	血液内科	400,000円	補 国立病院機構九州がんセンター
原発性AL/マロトーンズに対するホルテゾミブ・メルファラン・デキサメタゾン療法の安全性と有用性に関する研究	島崎千尋	血液内科	1,000,000円	補 金沢大学
末梢性T細胞リンパ腫(PTCL)の細胞起源の同定による病型分離と治療層別化	松本洋典	血液内科	1,000,000円	補 若手研究者奨励研究費
多発性骨髄腫のSKY-ゲノムアレイ解析と臨床応用	谷脇雅史	血液内科	1,820,000円	補 文部科学省
NeuroAIDSの発症病態と治療法の開発を目指した長期フォローアップ体制の構築	中川 正法	神経内科	3200000円	委 厚生労働省

難治性ニューロパチーの病態に基づく新規治療法の開発	中川 正法	神経内科	750000円	委	厚生労働省
難治性疾患克服研究事業 神経変性疾患に関する調査研究	中川 正法	神経内科	1000000円	補	厚生労働省
重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究	中川 正法	神経内科	800000円	補	厚生労働省
ニューロパチーの病態解明に関する研究	滋賀 健介	神経内科	1000000円	補	厚生労働省
α-シヌクレイン分析酵素ニューロシンの細胞内プロテアーゼ特性とその制御因子の検討	徳田 隆彦	神経内科	1800000円	補	文部科学省
粥状硬化性機序による難治性脳梗塞の診断・治療・予防に関する研究	永金 義成	神経内科	500000円	委	厚生労働省
新しい胃癌の癌抑制遺伝子RUNX3の細胞分化・癌化機構の解明と予防・治療への応用	阪倉 長平	消化器外科	4100000円	補	日本学術振興会
胃癌の新しい癌抑制遺伝子RUNX3の細胞化・癌化機構の解明と予防・診断への応用	阪倉 長平	消化器外科	6000000円	補	文部科学省
アクチン重合阻害剤トルンキュリンの抗腫瘍効果と臨床応用	落合 登志哉	消化器外科	1200000円	補	日本学術振興会
消化器癌患者における血漿中核酸断片を用いた新規バイオマーカーの開発と臨床応用	市川 大輔	消化器外科	1000000円	補	日本学術振興会
免疫細胞活性化カラムを用いた体外循環治療を併用した癌ワクチン療法の開発	伊藤 剛	消化器外科	1400000円	補	日本学術振興会
分子機構から見た直腸肛門奇形rescure programの確立	岩井直躬	小児外科学	8,700千円	補	文部科学省
完全静脈栄養管理下の短腸症候群における敗血症及び肝不全予防療法の開発	古川泰三	小児外科学	2,540千円	補	文部科学省
直腸肛門奇形モデルマウスにおける神経・筋発生異常の分子生物学的解析	津田知樹	小児外科学	3,200千円	補	文部科学省
間接軟骨疾患治療に向けた間接内環境ストレス応答機構の解明	久保 俊一	整形外科	7290千円	補	日本学術振興会
組織工学的的手法による椎間板再生法の確立	三上 靖夫	整形外科	2210千円	補	日本学術振興会
加齢による筋萎縮メカニズムの解明及び予防法の確立	藤原 浩芳	整形外科	600千円	補	日本学術振興会

変性間接軟骨内部における荷重応答の解析	生駒 和也	整形外科	1742千円	補	日本学術振興会
拡散テンソル法をもちいた末梢神経損傷の新たな診断法の確立	小田 良	整形外科	1742千円	補	日本学術振興会
突発性大腿骨頭壊死症の予防と治療の標準化を目的とした総合研究	久保 俊一	整形外科	27000千円	補	厚生労働省
変形性関節症の治療標的としての滑膜炎の病的意義解明と制御方法の検討	高橋 謙治	整形外科	1000千円	補	中富健康科学振興財団
肩関節動作における腱板(棘上筋・棘下筋)に加わる負荷の定量化の試み 腱板における全荷重・部分荷重に	森原 徹	整形外科	2000千円	補	日本運動器リハビリテーション学会
鎖骨を含めた肩甲上腕リズムの解析-肩鎖関節完全脱臼における病態評価とその治療法の確立-	森原 徹	整形外科	500千円	補	日本臨床スポーツ治療医学研究会
細胞老化とエピジェネティック変化の制御による角膜上皮細胞治療法の基盤技術の開発	木下 茂	眼科	910万円	委	文部科学省
アトピー眼症におけるビタミンD3及びTSLP分子の機能分析	木下 茂	眼科	160万円	委	文部科学省
高次分岐形態形成の誘導による涙腺の機能的再生	横井 則彦	眼科	195万円	委	文部科学省
SJS/TENの新規治療法開発に向けての戦略的研究	外園 千恵	眼科	975万円	委	文部科学省
拡大ロービジョンリハビリテーションの効果に関する研究	外園 千恵	眼科	100万円	委	文部科学省
複合型粘膜上皮移植と免疫系制御による眼表面再生医療への展開	稲富 勉	眼科	169万円	委	文部科学省
角膜上皮細胞の特異機能におけるエピジェネティック制御および機能的RNAの関与	川崎 諭	眼科	195万円	委	文部科学省
網膜静脈閉塞症に対する血管内皮前駆細胞移植による治療的血管新生	小森 秀樹	眼科	143万円	委	文部科学省
角膜性状同時測定が可能な新規眼圧計の開発	成瀬 繁太	眼科	140万円	委	文部科学省
神経系組織浮腫の新しい治療法	丸山 和一	眼科	208万円	委	文部科学省

アジア科学技術協力の戦略的推進	木下 茂	眼科	2079万円	補	文部科学省
緑内障診断SNPチップと変形プロテオミクス解析による緑内障統合的診断法の開発	木下 茂	眼科	2600万円	補	厚生労働省
重症多発滲出性紅斑に関する調査研究	外園 千恵	眼科	200万円	補	厚生労働省
重篤な皮膚有害事象の診断・治療と遺伝子マーカーに関する研究	木下 茂	眼科	130万円	補	厚生労働省
結膜弛緩症の原因の解明、病因に関与する眼表面の環境因子の解明、簡便な治療法の開発	横井 則彦	眼科	150万円	補	
バリア機能障害によるアトピー性疾患病態解明に関する研究	加藤則人	皮膚科学	2,000,000	補	厚生労働省
組織弾性イメージングを用いた下部尿路症状の病態解明	沖原 宏治	泌尿器科	500,000	補	文部科学省
がん検診の評価とあり方に関する研究	三木 恒治	泌尿器科	2,500,000	補	厚生労働省
診療科データベースとJapanese National Cancer Database (JNCDB)の構築と運用	三木 恒治	泌尿器科	1,100,000	補	厚生労働省
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法に関する研究	三木 恒治	泌尿器科	800,000	補	厚生労働省
精神・神経疾患研究委託費「摂食障害の疫学、病態と診断、治療法、転帰と予後に関する統合的研究」分担「発達障害の合併する摂食障害患者の臨床的特徴に関する研究」	福居顯二	精神神経科	500千円	補	厚生労働省
障害保健福祉総合研究事業「精神障害および精神障害者に関する普及啓発に関する研究」分担「地域での普及啓発が統合失調症の早期発見に与える影響の検討」	福居顯二	精神神経科		補	厚生労働省
応用行動分析を用いた認知症の行動障害に対する介入法の開発	成本 迅	精神神経科	1040千円	補	文部科学省
育児期の女性における不安・抑うつに関する精神医学的研究	崔 炯仁	精神神経科	780千円	補	文部科学省
Necdin/MAGEファミリーによる成体脳での神経細胞新生と死の制御機構	西村 伊三男	精神神経科	1950千円	補	日本学術振興会
平成20年度大阪認知症研究会海外派遣助成	成本 迅	精神神経科	200千円	補	大阪認知症研究会
胸部悪性腫瘍のラジオ波焼灼療法に関する研究	山上 卓士	放射線科	800000円	補	厚生労働省

人工呼吸器関連肺損傷に関連したバイオマーカーの検討	橋本 悟	麻酔科	3600000円	補	日本学術振興会
知覚神経における疼痛関連遺伝子の転写活性制御の解析と疼痛治療への応用	天谷 文昌	麻酔科	1100000円	補	日本学術振興会
好中球の転写因子C/EBP β に着目した肺血症性急性肺損傷の病態解析	志馬 伸朗	麻酔科	1200000円	補	日本学術振興会
エピジェネティクスに注目したARDSの病態解析	橋本 悟	麻酔科	22000000円	補	日本学術振興会
miRNAによるRNA干渉効果を用いた新しい血小板遺伝子ノックダウン手法の開発	加藤 祐子	麻酔科	2400000円	補	文部科学省
羊膜を基質とした培養口腔粘膜上皮シートの臨床応用	金村成智	歯科	1,100,000円	補	日本学術振興会

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am Heart J	Long-term clinical outcome after intramuscular implantation of bone marrow mononuclear cells (Therapeutic Angiogenesis by Cell Transplantation [TACT] trial) in patients with chronic limb ischemia.	的場聖明,松原弘明	循環器腎臓内科
J Am Coll Cardiol.	Controlled Delivery of Basic Fibroblast Growth Factor Promotes Human Cardiosphere-Derived Cell Engraftment to Enhance Cardiac Repair for Chronic Myocardial Infarction.	高橋知三郎,松原弘明	循環器腎臓内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol	Downregulation of Dicer expression by serum withdrawal sensitizes human endothelial cells to apoptosis.	高橋知三郎,松原弘明	循環器腎臓内科
J Hum Hypertens	Losartan decreased premature ventricular contractions in patients with hypertension.	白山武,松原弘明	循環器腎臓内科
J Hum Hypertens.	KYOTO HEART study: effects of valsartan on morbidity and mortality in uncontrolled hypertensive patients with high risk of cardiovascular events.	松原弘明	循環器腎臓内科
J Cell Mol Med	Stemming heart failure with cardiac- or reprogrammed-stem cells	沢田尚久,松原弘明	循環器腎臓内科
Clin Nucl Med	Dual SPECT Imaging With Tc-99m Pyrophosphate and Tl-201 of Circumferential Subendocardial Myocardial Infarction in Aortic Stenosis Without Coronary Artery Stenosis.	中村 猛,松原弘明	循環器腎臓内科
Int J Cardiol	Vagal enhancement due to subendocardial ischemia as a cause of abnormal blood pressure response in hypertrophic cardiomyopathy.	沢田尚久,松原弘明	循環器腎臓内科
Am J Physiol Cell Physiol.	MURC, a muscle-restricted coiled-coil protein, is involved in the regulation of skeletal myogenesis	上山知巳,松原弘明	循環器腎臓内科
Am J Cardiol	Changes of Functional Mitral Regurgitation in Asymptomatic or Mildly Symptomatic Patients With Idiopathic Dilated Cardiomyopathy.	松原弘明	循環器腎臓内科
J Biol Chem	Crossveinless-2 controls bone morphogenetic protein signaling during early cardiomyocyte differentiation in	松原弘明	循環器腎臓内科
Circ J	Predictors of In-Hospital Outcome After Primary Percutaneous Coronary Intervention for Recurrent Myocardial Infarction	沢田尚久,松原弘明	循環器腎臓内科
Circ J	Effects of Hospital Volume of Primary Percutaneous Coronary Interventions on Angiographic Results and In-Hospital Outcomes for Acute Myocardial Infarction.	沢田尚久,松原弘明	循環器腎臓内科
Circ J	Septal Q wave as a marker of septal ischemia in hypertrophic cardiomyopathy.	松原弘明	循環器腎臓内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Mol Cell Biol	MURC, a Muscle-Restricted Coiled-Coil Protein That Modulates the Rho/ROCK Pathway, Induces Cardiac Dysfunction and Conduction Disturbance.	松原弘明	循環器腎臓内科
J Cell Mol Med	Stemming heart failure with cardiac- or reprogrammed-stem cells	上山知巳,松原弘明	循環器腎臓内科
Cardiovasc Res	Generation of reentrant arrhythmias by dominant-negative inhibition of connexin43 in rat cultured myocyte monolayers.	松原弘明	循環器腎臓内科
Hypertens Res.	Aldosterone nongenomically produces NADPH oxidase-dependent reactive oxygen species and induces myocyte apoptosis.	松原弘明	循環器腎臓内科
Amyloid	Early cardiac involvement in senile systemic amyloidosis	沢田尚久松原弘明	循環器腎臓内科
Clin Nucl Med	Dual SPECT imaging with Tc-99m pyrophosphate and Tl-201 of circumferential subendocardial myocardial infarction in aortic stenosis without coronary artery stenosis.	沢田尚久松原弘明	循環器腎臓内科
Biochem Biophys Res Commun	Skeletal muscle-derived progenitors capable of differentiating into cardiomyocytes proliferate through myostatin-independent TGF- β family signaling.	上山知巳,松原弘明	循環器腎臓内科
Heart Vessels.	Altered expression of Na ⁺ transporters at the mRNA level in rat normal and hypertrophic myocardium.	白山武,松原弘明	循環器腎臓内科
Nippon Naika Gakkai Zasshi.	Angiogenic therapy for critical limb ischemia	的場聖明,松原弘明	循環器腎臓内科
Am J Nephrol.	Increased plasma S100A12 (EN-RAGE) levels in hemodialysis patients with atherosclerosis.	森 泰清,松原弘明	循環器腎臓内科
Ther Apher Dial	Plasma S100A12 concentrations in peritoneal dialysis patients and subclinical chronic inflammatory disease.	森 泰清,松原弘明	循環器腎臓内科
Int J Hematol. 87: 507-515, 2008.	Anti-myeloma effect of homoharringtonine with concomitant targeting of the myeloma-promoting molecules, Mc1-1, XIAP, and beta-catenin.	Kuroda J	血液・腫瘍内科
Acta Haematol. 120: 177-181, 2008.	JAK2V617F-Positive Essential Thrombocythemia and Multiple Myeloma with IGH/CCND1 Gene Translocation Coexist, but Originate from Separate Clones.	Kuroda J	血液・腫瘍内科
Br J Haematol.140:181-190, 2008	ABT-737 is a useful component of combinatory chemotherapies for chronic myeloid leukaemias with diverse drug-resistance mechanisms.	Kuroda J	血液・腫瘍内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Hematol.88:457-459, 2008.	Thrombotic thrombocytopenic purpura associated with myelodysplastic syndrome.	Sasaki N	血液・腫瘍内科
Oncogene.27 :2249-2256, 2008	Identification of the novel AML1 fusion partner gene, LAF4, a fusion partner of MLL, in childhood T-cell acute lymphoblastic leukemia with t(2;21)(q11;q22) by bubble PCR method for cDNA.	Chinen Y	血液・腫瘍内科
Eur J Clin Microbiol Infect Dis.27:1141-1143, 2008	Pharmacokinetic -pharmacodynamic analysis of voriconazole in Japanese patients with hematological malignancies.	Nomura K	血液・腫瘍内科
Intern Med.47:375-378, 2008.	Population pharmacokinetics of levofloxacin as prophylaxis for febrile neutropenia.	Nomura K	血液・腫瘍内科
J Antimicrob Chemother. 61:892-900, 2008.	Optimized dosage and frequency of ceftazidime for patients with febrile neutropenia based on population pharmacokinetic and pharmacodynamic analysis.	Nomura K	血液・腫瘍内科
Infect Control Hosp Epidemiol. 29:468-469, 2008.	Should Infection Control Teams Enforce an Antimicrobial Stewardship Program for All Clinicians?	Nomura K.	血液・腫瘍内科
Eur J Haematol. 80:143-150, 2008	Immunoglobulin light chain gene translocations in non-Hodgkin's lymphoma as assessed by fluorescence in situ hybridisation	Fujimoto Y,	血液・腫瘍内科
Int J Hematol.43 :967-970, 2008	Renal vein lymphoma embolism in non-Hodgkin lymphoma.	Yamamoto M	血液・腫瘍内科
Int J Antimicrob Agents. 31: 452-457, 2008.	Population pharmacokinetics of itraconazole solution used as prophylaxis for febrile neutropenia.	Nomura K	血液・腫瘍内科
Journal of Pediatric Surgery	Significance of ductal plate malformation in the postoperative clinical course of biliary atresia.	Shimadera S	小児外科学
European Journal of Pediatric Surgery	Congenital anomalies induced by Triamcinolone Acetonide in murine embryos.	Iwai N	小児外科学
Journal of Pediatric Surgery	Development of bile duct cancer in a 26-year-old man after resection of infantile choledochal cyst.	Ono S	小児外科学
日本医事新報	巨大結腸症の診断と治療	岩井直躬	小児外科学
日本医事新報	胆道閉鎖症の治療	岩井直躬	小児外科学
日本医事新報	胆道閉鎖症術後臨床経過におけるductal plate malformationの意義	嶋寺伸一	小児外科学

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本医事新報	便秘に伴う遺糞症に対するバイオフィードバック療法の効果	木村 修	小児外科学
日本医事新報	Hirschsprung病の診断と治療	岩井直躬	小児外科学
日本医事新報	複合奇形を有する低出生体重児の食道閉鎖症根治術と周術期管理.	岩井直躬	小児外科学
日本医事新報	小児便失禁の治療戦略	木村 修	小児外科学
Int Arch Allergy Immunol 149: 103-110, 2009	Atopic dermatitis, dry skin and serum IgE in children in a community in Japan.	Wakamori T, Katoh N, et al	皮膚科学
J Dermatol Sci 53: 40-47	Immunohistological analysis of peptide-induced delayed-type hypersensitivity in advanced melanoma patients treated with melanoma antigen-pulsed mature monocyte-derived dendritic cell	Nakai A, Katoh N, et al	皮膚科学
J Dermatol Sci 54: 31-37	Immunoregulatory T cells in the peripheral blood of melanoma patients treated with melanoma antigen-pulsed mature monocyte-derived dendritic cell vaccination.	Nakai A, Katoh N, et al	皮膚科学
J Dermatol 35(12):801-803, 2008	Evaluation of survival in Japanese stage IV melanoma patients treated with melanoma antigen-pulsed mature monocyte-derived dendritic cells.	Nakai A, Katoh N, et al	皮膚科学
Neuroscience Research 60(2): 213-218, 2008 Feb.	Effects of rat medial prefrontal cortex lesions on olfactory serial reversal and delayed alternation tasks.	Kinoshita, S.	精神機能病態学
Psychiatry and Clinical Neurosciences 62(2): 174-176, 2008 Apr.	Relationships among burnout, coping style and personality: study of Japanese professional caregivers for elderly.	Narumoto, J.	精神機能病態学
Neuroscience Letters 435(1): 7-10, 2008 Apr 11.	Correlation between anosognosia and regional cerebral blood flow in Alzheimer's disease.	Shibata, K.	精神機能病態学
Neuroscience Letters 436(2): 167-170, 2008 May 9.	Serotonergic mediation of the antidepressant-like effect of the green leaves odor in mice.	Nakatomi, Y.	精神機能病態学
Progress in Neuro- Psychopharmacology and Biological Psychiatry 32(4): 1082-1084. 2008	Recurrent hyperperfusion in the right orbitofrontal cortex in obsessive-compulsive disorder.	Matsumoto, R.	精神機能病態学
Psychiatry and Clinical Neurosciences 62(3): 279-285, 2008 Jun.	Classification of adult patients with type 2 diabetes using the Temperament and Character Inventory.	Yoda, N.	精神機能病態学

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neuroscience 154(2): 572-581, 2008 Jun 23.	Drosophila MAGE controls neural precursor proliferation in postembryonic neurogenesis.	Nishimura, I.	精神機能病態学
Progress in Neuro-Psychopharmacology and Biological Psychiatry 32(5): 1221-1226. 2008	Alteration of fractional anisotropy and apparent diffusion coefficient in obsessive-compulsive disorder: a diffusion tensor imaging study.	Nakamae, T.	精神機能病態学
Neuroscience 156(3): 466-474, 2008 Oct 15.	The single-prolonged stress paradigm alters both the morphology and stress response of magnocellular vasopressin neurons.	Yoshii, T.	精神機能病態学
認知療法研究 1: 26-32, 2008年10月.	日本における認知療法の拡がり.	福居顯二	精神機能病態学
精神科 12(5): 448-452, 2008年5月.	慢性期統合失調症入院患者のBMIと関連因子に関する検討.	北林百合之介	精神機能病態学
精神科治療学 23(12): 1491-1497, 2008年12月.	パニック障害の非発作性不定愁訴に柴胡加竜骨牡蠣湯が有用と考えられた3症例.	富永敏行	精神機能病態学
強迫性障害の研究 9: 27-33, 2008年5月.	重度の溜め込み強迫症状を呈する強迫性障害患者への入院治療が奏効した1例.	松本良平	精神機能病態学
精神医学 50(4): 361- 363, 2008年4月.	甲状腺クリーゼの経過中に、精神運動興奮と精神症状に連動したβブロッカー抵抗性の重篤な頻脈を来し、精神科介入を必要とした1例.	羽多野 裕	精神機能病態学
Chest	Delayed and recurrent pneumothorax after radiofrequency ablation lung tumors	Yoshimatsu R, Yamagami T, et al	放射線科
Journal of Oral Tissue Engineering vol.6 (発表:2007年9月30日)	Experiences of preclinical use of periodontal ligament-derived cell sheet cultured on human amniotic membrane	Amemiya Takeshi	歯科
日本歯科保存学雑誌 第52巻 (発表:2008年2月30日)	化学療法により歯胚の消失を認めた小児神経芽細胞腫の症例-乳歯に対する抗腫瘍剤の影響-	山本俊郎	歯科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Internal Medicine 47(23):2067-72, 2008.	Two Japanese CADASIL families exhibiting Notch3 mutation R75P not involving cysteine residue.	Mizuno T, et al. (水野敏樹)	神経内科
Clinical Neuropharmacology 2009 Mar-Apr; 32(2):113-6.	Cognitive impairment and cerebral hypoperfusion in a CADASIL patient improved during administration of lomerizine.	Mizuno T, et al (水野敏樹)	神経内科
Internal Medicine 2009;48(3):163-8.	Polymyositis with atypical pathological features associated with thymic carcinoma.	Azuma Y, et al (東 裕美子)	神経内科
Acta Neuropathologica 2009 Jan;117(1):55-62.	Increased TDP-43 protein in cerebrospinal fluid of patients with amyotrophic lateral sclerosis.	Kasai T, et al. (笠井 高士)	神経内科
Clinical autonomic research 2008 Aug;18(4):213-20.	Evaluation of autonomic malfunction in idiopathic normal pressure hydrocephalus.	Kuriyama N, et al. (栗山長門)	神経内科
Neuroradiology 2008 Nov; 50(11):939-45.	Is it possible to define salvageable ischemic penumbra using semiquantitative rCBF levels derived from MR perfusion-weighted imaging?	Akazawa K, et al. (赤澤健太 郎)	放射線科
Annals of Neurology 2008 Aug;64(2):217-21.	Retrograde jugular flow associated with idiopathic normal pressure hydrocephalus.	Kuriyama N, et al. (栗山長門)	神経内科
Neuroradiology. 2008 Jul;50(7):605-11.	Cerebral white matter damage in frontotemporal dementia assessed by diffusion tensor tractography.	Matsuo K, et al. (松尾宏俊)	神経内科
Neuroscience Letters 2008 May 2;436(1):52-6.	Cleavage of normal and pathological forms of alpha-synuclein by neurosin in vitro.	Kasai T, et al. (笠井高士)	神経内科

Hepato-Gastroenterology; 55(82-83) (発表:年月日)	Efficacy of Prophylactic Extended Lymphadenectomy with Gastrectomy for Patients with Node-negative Advanced Gastric Carcinoma	Eigo Otsuji	消化器外科
京都府立医科大学雑誌; 117(5) (発表:2008年5月日)	大腸癌に対する腹腔鏡下手術の現状と展望	國場幸均	消化器外科
Journal of hepato-biliary-pancreatic surgery; 15(4) (発表:2008年8月日)	Novel interventional treatment technique for intractable pancreatic fistula due to dehiscreatico-jejunal anastomosis following pancreaticoduodenectomy.	Shuhei Komatsu	消化器外科
京都消化器医会会報; 第24号 (発表:2008年8月日)	胃癌に対する外科的治療の現状	大辻英吾	消化器外科
日本消化器外科学会雑誌; 41(11) (発表:2008年11月日)	Oxaliplatin/fluorouracil/leucovorin 療法が奏効した直腸癌術後脳脊髄転移の1例.	窪田健	消化器外科
癌と化学療法; 35(12) (発表:2008年11月日)	術前化学療法(mFOLFOX6)が奏功し切除可能となった高度浸潤直腸癌の一例	阪倉長平	消化器外科
International Journal of Clinical Oncology; 13(6) (発表:2008年12月日)	Long-term complete response of multiple hepatic metastases from carcinoma of the papilla of Vater using intrahepatic infusion of 5-FU with low-dose cisplatin following pancreaticoduodenectomy.	Shuhei Komatsu	消化器外科
Clinical & Experimental Metastasis; 26(5) (発表:2009年2月日)	NK4, an HGF antagonist, prevents hematogenous pulmonary metastasis by inhibiting adhesion of CT26 cells to endothelial cells.	Takeshi Kubota	消化器外科
Coagulation&Inflammation 2(2):8-12 (発表:2008年)	ALI/ARDS とアポトーシス	橋本 悟	麻酔科
Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol 295(4):L566-74 (発表:2008年)	Dysregulation of lung injury and repair in moesin-deficient mice treated with intratracheal bleomycin	橋本 壮志	麻酔科
Respirology 13(4):581-4 (発表:2008年)	Neutrophil elastase activity in acute lung injury and respiratory distress syndrome	橋本 悟	麻酔科

Anesthesiology 108(6):1156 (発表:2008年)	Ultrasound-guided Catheterization of the Internal Jugular Vein	志馬 伸朗	麻酔科
第30回日本呼吸療法医 学会総会 (発表:2008年7月4 日)	肺高血圧を有する乳児先天性心疾患根治術 後での早期抜管は術後炎症反応を軽減する	梅内 貴子	麻酔科
第55回日本麻酔科学会 学術集会 (発表:2008年6月12 日)	小児静脈穿刺におけるトランスイルミネー ション法の有用性を評価するパイロットス タディ	貴志 千春	麻酔科
第36回日本救急医学会 総会 (発表:2008年10月13 日)	ルシフェラーゼアッセイを使ったカテーテ ル関連感染症の早期診断法の検討	別府 賢	麻酔科
日本乳癌検診学会誌 17(2): 154 - 160, 2008. 6. 30.	ステレオガイド下マンモトーム生検におけ る経験と工夫	中嶋啓雄	内分泌・乳腺外 科
Apoptosis13(4): 1360- 8185, 2008. 4.	Bid truncation mediated by caspases-3 and - 9 in vinorelbine-induced apoptosis.	Akemi Hayakawa	内分泌・乳腺外 科
Apoptosis13: 1013-1021, 2008. 7.	Blockade of the Fas/Fas ligand interaction suppresses hepatocyte apoptosis in ischemia- reperfusion rat liver.	Hiroo Nakajima	内分泌・乳腺外 科
日本臨床外科学会雑誌 69(8): 1866 - 1871, 2008, 8, 25.	乳癌に対するセンチネルリンパ節生検後の腋窩 リンパ節再生例の検討.	中嶋啓雄	内分泌・乳腺外 科
日本臨床外科学会雑誌 69(10): 2454 - 2461, 2008, 10, 25.	内視鏡下乳房温存手術の長期成績	中嶋啓雄	内分泌・乳腺外 科
World J Surg 32: 2477- 2482, 2008. 8.	Prognosis of Japanese Breast Cancer Based on Hormone Receptor and HER2 Expression Determined by Immunohistochemical Staining.	Hiroo Nakajima	内分泌・乳腺外 科
Annals of Surgery 249(1):91-96, 2009. 1.	Video-Assisted Skin-Sparing Breast- Conserving Surgery for Breast Cancer and Immediate Reconstruction With Autologous Tissue.	Hiroo Nakajima	内分泌・乳腺外 科

Fertil Steril 89: 1831-1835, 2008.	Maintenance therapy involving a tapering dose of danazol or mid/low doses of oral contraceptive after gonadotropin-releasing hormone agonist treatment for endometriosis-associated pelvic pain.	Kitawaki J	産婦人科
Biochem Pharmacol 76: 208-215, 2008	MCF-7aro/ERE, a novel cell line for rapid screening of aromatase inhibitors, ERalpha ligands and ERRalpha ligands	Lui K	産婦人科
J Reprod Immunol 78: 1-10, 2008.	Possible role of hematopoietic CD44/chondroitin sulfate interaction in extravasation of peripheral blood CD16(-) natural killer cells into human endometrium	Yasuo T	産婦人科
Eur J Pharmacol. 2009; 605: 164-169.	Telmisartan, an angiotensin II type 1 receptor blocker, prevents the development of diabetes in male Spontaneously Diabetic Torii rats	Hasegawa G	産婦人科
Int J Gynecol Cancer. 2009; 19: 484-488.	Intravenous paclitaxel is specifically retained in human gynecologic carcinoma tissues in vivo	Koshiba H	産婦人科

5
